



平成26年2月18日
門 司 税 関

福岡空港の覚醒剤押収量が過去最高（約11.6kg）を記録！

＜運び屋による密輸入が相次ぐ＞



～平成25年の門司税関における関税法違反事件の摘発状況等について～

平成25年の門司税関における不正薬物の密輸入及びその他の関税法違反事件の摘発状況等をまとめましたのでお知らせします。

1 不正薬物

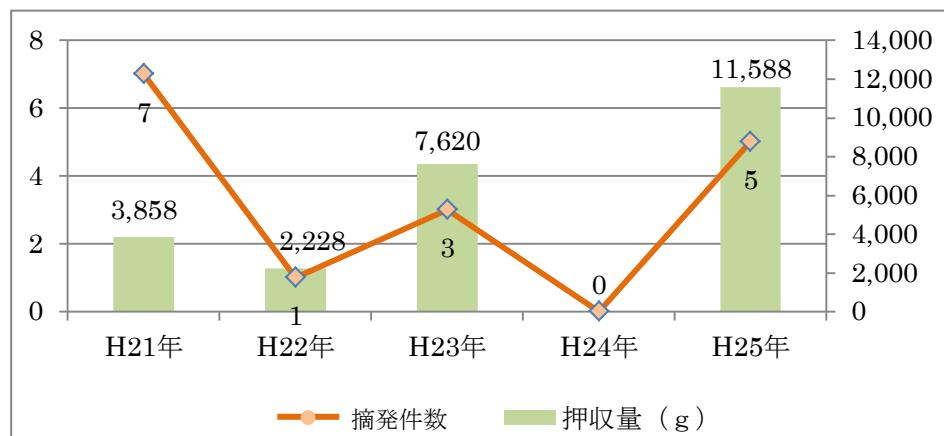
- ◆ 不正薬物の密輸入事犯の摘発件数は、11件（対前年比92%）
- ◆ 押収量は、
 - ◇ 覚醒剤・大麻等（向精神薬等の錠剤型薬物を除く。）は、約15kg（対前年比13%）
 - ◇ 向精神薬等の錠剤型薬物は、34錠（対前年比4.7%）

【覚醒剤の摘発】

覚醒剤の密輸入摘発件数は7件（対前年比2.3倍）、押収量は約15kg（対前年比13.4%）となっており、前年に比べ押収量は大幅に減少したものの、摘発件数は大幅増となった。

なお、福岡空港においては、覚醒剤密輸入事犯の摘発が前年に比べ大幅に増加（5件増）し、押収量も約11.6kgと年間押収量の過去最高を記録した。

福岡空港税関支署における覚醒剤摘発件数、押収量の推移



【大麻の摘発】

大麻の密輸入摘発件数は2件(対前年比28.6%)、押収量は約450g(対前年比7.5%)となっており、摘発件数、押収量ともに前年に比べ大幅に減少した。

【仕出地別】

覚醒剤の摘発7件は、中国(香港含む)が4件、カナダ、南アフリカ仕出しがそれぞれ1件、仕出地不詳が1件であった。

大麻の摘発2件は、アメリカ、韓国仕出しがそれぞれ1件、錠剤型薬物の摘発1件は、中国(香港含む)仕出しであった。

【密輸形態別】

不正薬物の密輸入事犯11件のうち、航空機旅客が7件、船舶旅客が1件、国際郵便物が1件、航空小口急送貨物が1件、船内検査が1件であった。

〔参考〕不正薬物に係る物件別摘発件数及び押収数量

年 別 物件別	21年	22年	23年	24年	25年	前年比
覚醒剤 (件)	8	3	5	3	7	2.3倍
(g)	4,327.52	2,229.16	8,648.69	111,754.25	14,944.53	13.4%
大麻 (件)	2	2	1	7	2	28.6%
(g)	706.45	44.58	7.10	6,070.23	456.99	7.5%
大麻草 (件)	1	2	1	5	2	40%
(g)	0.97	44.58	7.10	95.23	456.99	4.8倍
大麻樹脂 (件)	1	0	0	2	0	全減
(g)	705.48			5,975.00		全減
MDMA (件)	0	1	0	0	0	—
(錠)		95				—
向精神薬 (件)	3	2	2	2	1	50%
(錠)	500	1,017	1,069	725	34	4.7%
その他 (件)	3	2	1	0	2	全増
(件)	16	10	9	12	12	100%
合 計 (g)	5,033.97	2,273.74	8,655.79	117,824.48	15,401.52	13.1%
(錠)	500	1,112	1,069	725	34	4.7%

(注) ・ 1事件で数種類の物件を押収した事例があるので、合計件数と1頁の摘発件数とは一致しないことがある。

- ・ 覚醒剤の摘発件数、押収量は当税関が他税関で発見したものを含む。
- ・ その他は、ケタミン微量、コカ含有製品である。

2 その他(不正薬物以外の主な告発事案)

- 金地金(約79kg、約3億8千万円)の密輸入事犯を告発
- 北朝鮮向けの中古タイヤを中国向けと偽った虚偽申告輸出事犯を告発

3 事例紹介

(1) 不正薬物の主な摘発事例

《覚醒剤》

【事例1】 スーツケースを二重工作して隠匿していた覚醒剤を摘発

平成25年6月、福岡空港税関支署は、カナダから韓国経由で福岡空港に到着した日本人女性旅客に対する携帯品検査により、ソフトスーツケース底部に二重工作して隠匿していた

覚醒剤 約3.6キログラム

を発見、摘発した。

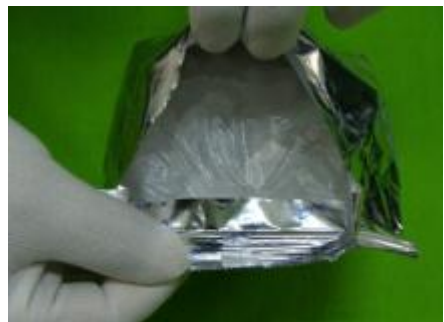


【事例2】 スーツケースに収納された粉ミルク箱に隠匿していた覚醒剤を摘発

平成25年11月、福岡空港税関支署は、中国から福岡空港に到着したドイツ人男性旅客に対する携帯品検査により、ソフトスーツケース内の粉ミルク箱内に隠匿していた

覚醒剤 約5キログラム

を発見、摘発した。



【事例3】 ブリーフケース内に隠匿していた覚醒剤を摘発

平成25年11月、福岡空港税関支署は、南アフリカから韓国を経由して福岡空港に到着した米国人女性旅客に対する携帯品検査により、ブリーフケース内に隠匿していた

覚醒剤 約2キログラム
を発見、摘発した。



【事例4】 身辺に隠匿していた覚醒剤を摘発

平成25年12月、福岡空港税関支署は、香港から福岡空港に到着した台湾人旅客3名に対する携帯品及び身辺検査により、

- ① 男性が両太ももに巻き付けて隠匿していた**覚醒剤 約630グラム**
- ② 女性が着用下着内に隠匿していた**覚醒剤 約370グラム**

を発見、摘発した。



【事例5】 中国来覚醒剤密輸入事犯を発見

平成25年9月、門司税関調査部は、成田航空貨物出張所における中国来航空小口急送貨物の輸入通関検査により、衣類に隠匿していた

覚醒剤 約3.4キログラム

を発見した。



《大麻》

【事例6】 国際郵便物内に収納された菓子箱内に隠匿していた乾燥大麻を摘発

平成25年3月、門司税関福岡外郵出張所は、米国来国際スピード郵便物に対する郵便物検査により、郵便物内に収納された菓子箱内に隠匿していた

大麻 約450グラム

を発見、摘発した。



【事例7】 リュックサックのポケット内に隠匿していた乾燥大麻を摘発

平成25年10月、下関税関支署は、韓国から下関港に到着したフランス人男性旅客に対する携帯品検査により、リュックサック内に隠匿していた

大麻 約2グラム

を発見、摘発した。



(2) 不正薬物以外の告発事例

【事例1】 金地金密輸入事犯を告発

平成25年3月、福岡空港税関支署は、タイから福岡空港に到着した日本人男性旅客に対する携帯品検査により、ビニールバッグ底部に隠匿していた

金地金 8塊 (約8キログラム)

を発見、摘発し、その後の調査により、日本人男性2名と共に、過去、

金地金 71塊 (約71キログラム)

を密輸入していた事実を特定し、同年4月から5月の間、複数回にわたって同3名を関税法違反（無許可輸入）で告発した。



【事例2】 北朝鮮向け不正輸出事犯を告発

平成25年12月、門司税関調査部は、

中古タイヤ1,042本

を北朝鮮向けに不正輸出した韓国人男性及び同男性が経営する会社を関税法違反（虚偽申告）で告発した。



連絡・問合せ先 門司税関 税関広報広聴室

Tel. 050-3530-8333